

わったー まちの話題

5月24日 語る♪ 謡う♪ 弾く♪ 講演会

西原町立図書館で、國吉清昂氏（琉球古典音楽研究会 会長）を講師にお招きして「琉球古典音楽を語る ～二揚五節を謡う～」を演題に、講演会を開催しました。三線の経験の有無に関係なく、町内外から約40名の方が参加し、國吉氏の講話に熱心に耳を傾け、三線の音色と歌を楽しみました。

※國吉清昂氏は、西原南小学校の校歌を作曲した方です。



6月6日 驚きの発見がいっぱい！国際交流

国際協力機構（JICA沖縄）の研修の一環として、研修員12名が坂田小学校を訪れました。この研修は、開発途上国の教育行政官が日本の学校を視察し、日本の教育制度の理解を深め、自国の教育環境を充実させることを目的としています。

研修員たちは、自国の国旗の由来や文化などを紹介し質疑応答を通して、児童と交流しました。その後、児童から研修員たちへ折り鶴と歌のプレゼントがありました。コネ ウリエルさん（6年生）は「色々な国の食べ物や動物などについて知ることができて楽しかった。一番危険な動物がカバだと知って、驚いた」と話しました。



6月17日 天井クレーン点検事業展開で労働災害の防止へ

沖縄県より「経営革新支援制度」の承認を受けた西原町の事業者（有）金一重量が、崎原町長へ報告を行いました。

（有）金一重量はこれまで、クレーンを使った重量物の運搬や設置の施工に関して30年以上の営業実績を持つことから、その経験やノウハウを活用した新規事業として「天井クレーンの点検サービス事業」を展開する予定です。

天井クレーンの点検・検査は、「労働安全衛生法」の規定に基づいた「クレーン等安全規則」で定期自主検査等が義務付けられていますが、沖縄県内では点検事業者が高齢化し、新規事業者の受付が難しく、点検に時間がかかるといった課題もあるようです。

同社の金城博之代表取締役は、「すでに多くの依頼を受けており、反響が大きい。有資格者の育成を進めるなど、受注体制を早く整えて、現場での産業事故を未然に防ぎたい」と、今後の抱負を熱く語りました。報告を受けた崎原町長は「天井クレーンを設置する企業からのニーズに対応し、適正な点検が行われ、事故防止に繋げて欲しい」と話しました。



6月20日 坂田小学校 平和集会

坂田小学校で沖縄戦について学び、平和な世の中にするために、自分たちができることを考える平和集会が開かれました。

集会では、読み合いネットワーク 喜楽星7による「てっぼうをもったキジムナー」の朗読、6年生による「平和のメッセージ」の発信「いのちのリレー」「沖縄から平和の歌を」の合唱がありました。児童代表の比嘉優菜さん（6年生）が「悲惨な戦争を繰り返さないために、平和学習で学んだことや感じたことを多くの人に伝えていきたい」と平和への思いを強く伝えていました。



6月24日 税務功労者感謝状贈呈式

児島範昭沖縄国税事務所長は、令和6年分確定申告期において、西原町から国への所得税等申告書のデータ連携を強力に推進したことで確定申告事務の効率化に大きく寄与されたとして、西原町へ「沖縄国税事務所長感謝状」を贈呈しました。今回のデータ連携に関する感謝状の贈呈は、県内4市町村へ行われました。

税務課からのお知らせ e-Tax（国税電子申告・納税システム）は、①24時間、自宅から申告可能（申告時期のみ対応、メンテナンス時間を除く） ②申告書がデータで取得可能 ③添付書類提出不要（一部の書類を除く） ④早期還付 などのメリットがあります。マイナンバーカードをお持ちの方は、ぜひ、e-Taxをご利用ください。



6月26日 西原中学校男子バレーボール部優勝報告

「第65回全沖縄中学校バレーボール選手権大会」および「第52回中頭地区中学校総合体育大会バレーボール競技大会」の2大会で見事優勝を果たした西原中学校男子バレー部が町役場を訪れ、崎原町長へ優勝報告と九州大会・県大会への意気込みを伝えました。

新垣柊弥キャプテン（3年生）は「今大会では、練習の成果を発揮し、僕たちの得意とするスピードのあるバレーを展開することができた。次の大会では、全国大会に出場できるように頑張りたい」と意気込みを語りました。

崎原町長は「今回、2大会も優勝できたということは、皆さんが日頃の成果を試合の中で活かしたからだと思う。次の大会でも最後まで粘り強く頑張してほしい」と激励しました。



6月29日 素そばで勝負！第1回沖縄そばグランプリ

沖縄そばグランプリ実行委員会と西原町観光まちづくり協会が主催する「第1回沖縄そばグランプリ」が「第3回にしはら物産展」と併せて西原さわふじマルシェで開催されました。

今回は「素そばで勝負！」というテーマのもと、県内の8店舗が1杯400円で沖縄そばを販売し、麺とスープだけで味を競いました。猛暑の中、大勢の方々が会場に集まり、販売終了時間の午後4時まで店の前には大行列ができるほど、大盛況のイベントとなりました。

投票の結果、西原町呉屋にある「ちよーでーぐあ」が記念すべき初代グランプリに輝きました。「ちよーでーぐあ」の又吉世進店主は「地域の方々のお力添えがあったからグランプリをいただけたと思う。皆さんのそばじょーぐー（大好き）パワーが凄過ぎてとても楽しかった」と喜びを語りました。



▲第1回沖縄そばグランプリの様子

◀「ちよーでーぐあ」の又吉世進店主

7月2日 これイね！笑顔はじける県産品

7月の県産品奨励月間を迎え、今年も西原町商工会のしもじひろゆき下地浩之会長と西原町観光まちづくり協会のこんどうてつし近藤哲司会長の連名により、崎原町長と大城純孝町議会議長へ地元産品・地元企業優先使用の要請がありました。

町長は「今回の要請をしっかりと受け止め、町内産品及び町内企業の優先使用を引き続き行い、商工会・観光まちづくり協会と連携して町の活性化に取り組んでいきたい」と話しました。



▲下地浩之会長

近藤哲司会長▲

7月3日 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生への理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動の一環として、「第75回社会を明るくする大会（中部南保護区推進委員会主催）」がさわふじ未来ホールで開催されました。

大会では、町内の小中学生から応募のあった社会を明るくする作文の中から12人が表彰され、その中から3人が意見発表を行いました。西原中学校3年の許田成時さんは「思いやりを持って行動することが大切。みんなで思いやりにあふれた社会を作りたい」と語りました。

また、うるま市立あげな中学校の新垣和哉校長は、SNSを通して若者に広がる違法薬物や闇バイトを取り上げ、その危険性や更生支援について講演しました。



許田成時さん

呉屋ちひろさん

蓮見悠陽さん

第75回社会を明るくする運動作文コンテスト受賞者

最優秀賞：西原中学校3年 許田成時さん「相手を思いやること」 優秀賞：西原小学校6年 蓮見悠陽さん「言葉やコミュニケーションの大切さ」 優良賞：西原東中学校3年 呉屋ちひろさん「犯罪を防ぐために」